

### (3) 障がい者スポーツ指導員基準カリキュラム

#### 1) 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 (18 時間以上)

領 域	講習科目	内 容	時 間
福 祉	障がい者福祉施策と 障がい者スポーツ	障がい者福祉施策の体系、サービス体系、今後の動向と障がい者スポーツとの関連性を学ぶ。	2
	ボランティア論	ボランティア精神と活動の基本的姿勢を学ぶ。	2
医 療・ 体育学・ 障がい者 スポーツ	障がい者スポーツの 意義と理念	障がい者のスポーツの捉え方やその意義、効果を学ぶ。	2
	安全管理	スポーツを実施する際の安全管理の基本的な項目と内容を学ぶ。	1
	障がいの理解とスポーツ	各障がいの主な特性を学び、その特性に配慮しながら安全にスポーツを実施させるために必要な最小限の知識を身に付ける。 <身体障がい（内部障がいを含む） 2 時間以上、 知的障がい 2 時間以上、 精神障がい 1 時間以上>	5 以上
	(公財)日本障がい者スポーツ協会 公認障がい者スポーツ 指導者制度	日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導者制度の障がい者スポーツ指導員の役割や組織について知る。	1
	全国障害者スポーツ大会 の概要	全国障害者スポーツ大会の開催目的や実施競技、一般競技とは異なる点などの概要を学ぶとともに、大会がスポーツ未経験者や初心者のスポーツ参加の大きな動機づけになっていることを理解する。	1
実技・ 実習	障がいに応じたスポーツの 工夫・実施	障がいのある人がスポーツやレクリエーションを安全に楽しむためには、既存のルールや用具をどのように工夫したらよいかを実技を通して学ぶ。	2 以上
	障がい者との交流	スポーツ活動をしている障がい当事者の体験談を聞く。または、スポーツ活動現場に出かけ障がい者とのふれあいを体験する。	2
時間数			18 時間 以上